

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会記録

日 時：2023年6月27日（火） 10:00～11:20

場 所：加世田高校 会議室

出席者：外部評価委員4人（1名欠席）、本校委員7人（校長、教頭、事務長、4部主任）

会順等：1 開会のことば（本校PR動画鑑賞含む）

2 校長挨拶

3 委員紹介

4 本会の趣旨について

5 本校の概況について（学校経営方針及び4部より説明）

6 令和4年度学校評価アンケート結果から

7 令和5年度学校評価について（案）

8 質疑応答

9 閉会のことば

〔委員からの質問・意見等の概要〕（○は評価委員から、●は本校委員から）

○枕崎のスクールバスが1学期いっぱいまで廃止と聞いているが、今の状況等を知りたい。

●4月直前にバス会社の方から1学期をもってスクールバスを廃止、路線バスへの代用の提案を受けた。4月の乗降調査を待って今後ご提案するとの話をもらったが、その前に2台運行のものを1台に減らされ、それが今も続いている。学校側としてはとにかくバス会社へ継続の願いをすると同時に、県と連携した協議や他のバス運行会社への打診などを行ってきた。最近では南さつま市とも連携し、もしスクールバスが廃止になった場合に、代替として市内での動きをどうかお願いできないかと相談している。

バス会社の方から今週か来週中に何らかの方向性が示されるかもしれない。

●生徒の通学手段は重要であるが、学校としても教育課程であるとかその他の面で加世田高校をPRしていきたい。

○8月の体験入学にはどれくらい応募があるか

●例年110名程度。保護者もたくさん来てくださって、生徒会が主となって活動してくれている。中学生から見て学校とか授業だけでない本校の活動もアピールしていければと考えている。

○教育課程表を見る限り、学校規模の割には選択科目が充実している。普通は受験科目などで進路が絞られてしまうが、多岐にわたる進路や受験方法・科目に対応しているのは、すごい強みといえる。個々の生徒の受験指導はどのような取組をしているか。

●学年が上がるにつれ興味関心を持たせる指導をしている。1年生では、文理選択と進路適性検査。進路適性検査は1学期中に実施し、夏休みの三者面談の話題にあげてもらう。2年生では何になりたいかの視野を広げる指導。総探の課題研究や進路講演会。進路講演会ではその学年

でどのような進路意識を持たせるかを中心に講演内容を依頼する。

○進路先の大学は示されているが、大学卒業後の就職先などの追跡調査はしていないか。

●調査はしていないが、必要性を感じる。世界への貢献と地元への貢献の両方を担うことが本校の卒業生には求められていると思う。

○高校生と市長が対話を行うなど、大人を変えてくような仕掛けを是非作っていただきたい。

○校則の見直しはどの程度行っているか。

●学校側で一方的に変えるのは楽。しかし、生徒側から問題提起をし、しっかり考えさせないといけない。

○中高の交流も推進すべき。校則の問題など、まずは生徒会同士の交流なども良いのではないか。

○加世田高校に興味のある人ならインスタなども見るだろうが、興味がない人にも加世田高校を見せる工夫を考えていただきたい。